

<令和8年度>

市立病院 部課長方針



事務局 事務局長 小川 淳治

事務局庶務課
庶務課長

樋口 裕一（次長）

医務局看護科
看護部長

桑原 文子

医務局薬剤科
薬剤部長

濱浦 睦雄

医務局放射線科
放射線科長

小板橋 和博

医務局臨床検査科
臨床検査科長

三室 晶弘

医務局栄養科
栄養科長

高田 隆

令和8年度 部長方針

部	市立病院	事務局長	小川 淳治
---	------	------	-------

部の運営方針

1. 業務遂行にあたっての基本的スタンス

- ・市民の健康の維持増進を第一とし、地域住民に愛される病院となることを目指す。
- ・患者及び家族の皆様が満足できるよう、安全で質の高い医療サービスの提供を目指す。
- ・職員一人ひとりがコスト意識を持ち、経営状況の把握など経営感覚を持続させ、改善に取り組む。

2. 重点的に取り組む事業とその目標

- ・新病院建設に向けた取り組みの推進
基本設計(案)の検証を行い実施設計を進めていく。
- ・安定経営に向けた取り組みの推進
経営危機打開プランや経営強化プランの行動計画実施項目等のほか、収益増に向けた取り組みを着実に推進する。
- ・地域医療連携の更なる強化
病床のベッドコントロール体制を整え、地域の医療機関や介護施設などとの関係性を構築し集患に努める。
- ・医師の確保
安定経営を目指すための常勤医師(整形外科)の確保に努める。

3. 部員に求める必要な心構え

- ・患者や家族に対して、常に自分が病院の顔であるという自覚を持って接する。
- ・問題意識と探究心を持って自己研さんに励み、自己能力の向上に努める。
- ・業務においては、部署内はもとより、病院職員全体で積極的に連携、協力する。
- ・常に問題意識と探究心を持って業務に取り組み、積極的な課題解決に努める。

令和8年度 課長方針

部課	市立病院 事務局 庶務課	課長	樋口 裕一
----	--------------	----	-------

課の運営方針

- ・庶務課職員一人ひとりが経営意識を持ち、経営危機打開プランを実行し患者の確保と収益確保に努める。
- ・診療報酬改定についての情報収集に努め、適切な施設基準の取得に努める。
- ・各診療科等の医療従事者に、様々な情報発信と共有化を図り、安全な医療を提供する。
- ・庶務課職員は、日頃から人身の体調管理と感染対策に努める。

主要事業

事業名	事業内容	目標
経営危機打開プランなどの進行管理	病院経営の危機的な状況を打開し、将来に向けて安定運営ができるよう、経営改善に取り組んでいく。	収益確保に向けた取り組みの推進として、入院患者1日98人、外来患者1日370人の目標患者を確保し、収益向上を目指す。経営危機打開プラン進行管理会議をはじめ、院内管理会議や市との経営危機打開会議の開催、更にはアドバイザーなどからの助言を活用しながらプランの進行管理に努める。
医療従事者の確保と充実	市民に安心・安全な医療を提供し収益確保を目指すため、医師等の医療従事者の確保に努める。	整形外科医師の確保と更なる特別診察の拡充に向けて、医療従事者の確保を図り、収益の向上を目指す。
新市立病院の整備	新蕨市立病院建設に向けた基本設計の検証を行い、実施設計を進める。	新市立病院建設に向けた基本設計(案)を外部アドバイザーの助言を踏まえて妥当性の検証を行い、必要に応じて基本設計に反映し、実施設計を進める。

令和8年度 課長方針

部課	市立病院 医務局 看護科	看護部長	桑原 文子
----	--------------	------	-------

課の運営方針

- ・専門職としての倫理観・知識・技術をみがき、看護の質向上に取り組む
- ・チーム医療を推進し、効果的な看護の提供を図る
- ・自ら学びともに育ち合う職場環境をつくる
- ・社会の変化に柔軟に対応し、健全経営に看護の視点で参画する

主要事業

事業名	事業内容	目標
病床稼働の向上	<ul style="list-style-type: none">・適正な病床コントロール・地域包括ケア病床の適性稼働・救急搬送応需の向上	<ul style="list-style-type: none">・看護科組織として協働態勢をとり、病床稼働を上げ収益アップに繋げる・分娩件数の増加推進
スタッフ育成 能力開発	<ul style="list-style-type: none">・キャリアラダーに則った教育実践・研修会(医療安全・感染対策・接遇・セルフマネジメント)	<ul style="list-style-type: none">・スタッフ個々が目標管理に基づいた具体的な実践行動がとれる・e-ラーニングの活用推進
適性な人員配置	<ul style="list-style-type: none">・働きやすい職場環境の構築・計画的な採用活動	<ul style="list-style-type: none">・スタッフの意向調査に基づき、職場環境および必要な支援の整備、職員動向の把握・教育的な配置転換

令和8年度 課長方針

部課	市立病院 医務局 薬剤科	薬剤部長	濱浦 睦雄
----	--------------	------	-------

課の運営方針

- ・医療安全に細心の注意を払い、患者にとって有効かつ安全な薬物療法に貢献し、質の高い医療サービスを提供する。
- ・蕨市の中核病院として、医療・福祉に必要な医薬品の安定供給に努める。
- ・退院後も地域において必要な薬物療法が継続されることを目指し、薬剤業務の充実を図る。

主要事業

事業名	事業内容	目標
病棟薬剤業務の充実	適切な薬物療法が地域で切れ目なく継続されることを目指し、ポリファーマシー対策および入退院時の情報連携を充実させる。	ポリファーマシー対策が必要と考えられる患者に対し、入院当初から介入するとともに、令和8年度診療報酬改定に対応し、薬剤管理サマリーを発行し診療報酬を確実に算定するよう、情報連携の方法について検討を行う。 また、副作用報告やプレアボイド報告といった、病棟薬剤業務に関連したDI業務について、積極的に取り組む。
外来調剤業務の充実	外来患者におけるポリファーマシー対策への関与について検討する。	外来においてポリファーマシー対策・残薬対策を進めるために、残薬情報の得られた患者に対する介入方法を検討し、実践する。
後発医薬品およびバイオ後続品の導入促進	患者の経済的負担および医療費削減に寄与する後発医薬品およびバイオ後続品を導入する。	流通状況を確認しつつ、診療報酬算定や経費削減等の経営的要因も考慮して、先発医薬品・バイオ先行品から後発医薬品・バイオ後続品への変更を進める。

令和8年度 課長方針

部課	市立病院 医務局 放射線科	科長	小板橋 和博
----	---------------	----	--------

課の運営方針

- ・最新医療技術の習得を怠らず安全で質の高い検査を保証し、診断・治療に役立つ画像の提供を努める。
- ・放射線科内で情報の共有を図り、他科との連携を密にしチーム医療を行う。
- ・放射線検査に関する説明及び撮影方法の提案を行う。
- ・放射線の専門職として放射線被ばくの低減に努める。

主要事業

事業名	事業内容	目標
院外勉強会	医師会・放射線技師会が主催する学会・勉強会の参加	最新医療技術の知識習得を図る
チーム医療	・画像診断における読影の補助 ・医師・他部署との連携	・緊急度が高い所見を見落とさず医師との共有を図る ・検査時間の短縮・待ち時間短縮を心がけ安全に検査ができるよう努める
医療被ばく線量管理	被ばく線量管理の義務化に伴い指針を策定する	・放射線診療に従事する職員の研修を実施する ・被ばく線量の管理・記録をおこなう
医療機器性能評価	各医療機器メーカーの特性を習得する	最新医療機器の有効性・安全性についての知識を学ぶ
症例検討会	撮影技術、症例の研究発表	撮影技術及び診断知識の向上を図る

令和8年度 課長方針

部課	市立病院 医務局 臨床検査科	科長	三室 晶弘
----	----------------	----	-------

課の運営方針

- ・臨床検査科は病院の基本理念に基づいて、常に患者の利益を最優先に考え、実行する
- ・検査データの精確性を第一に考え、医師・患者へ、質の高い・責任を持った検査データの提供を心掛ける
- ・試薬及び機器の安全管理に重点を置くと共に、臨床検査科全体及び個人の能力のスキルアップを怠らない
- ・検査科として関われる患者サービスの向上に、最大限の提供を心掛け、努力を怠らない

主要事業

事業名	事業内容	目標
精度管理事業	毎日行う、内部精度管理及び年数回行われる外部精度管理事業に参加し検査データの精確性を確保する	<ul style="list-style-type: none"> ・日本臨床衛生検査技師会・埼玉県医師会等主催の外部精度管理事業に参加し、A評価を得ることを目標とする ・令和7年6月1日付けで承認・更新された日本臨床衛生検査技師会「品質保証施設認証」の認証承認基準を維持する
機器・試薬の安全管理	日常の始業点検・定期点検を行い検査データを保障する	日常の機器メンテナンスを心掛けることや毎日行う内部精度管理データの検証により、機器・試薬に依存する検査データの不具合防止に努める
医療法改正に伴う検査室の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・医療法等の一部改正に伴う、臨床検査における品質・精度の確保等、検査室の整備・対応 ・高度な医療情勢に対応するための適切な研修の実施及び参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省から示された検査室の整備基準に従い、全ての検体検査測定・検査機器保守管理等の標準作業書、各作業日誌、試薬管理台帳等の整備及びその管理運営を引き続き継続・検証・改善に努め、病院内で求められるニーズへ対応する ・院内・院外・科内等、種々の研修に参加することにより個人の能力のスキルアップを行ない、検査科全体のレベルアップを目標とする
医療安全管理	検査業務に関わるアクシデント・インシデント・ヒアリハットなどを発生させない医療安全管理を行なう	検査業務に関わる医療事故防止のため、人的・機器的要因やシステムを分析し、検査科職員間で情報を共有しその発生防止に努める。また、従来の医療安全の考え方の上に、各自が判断し臨機応変に対応するため個人の調整能力向上に努める
試薬・消耗品管理	検査データの精確性・安定性に重点を置き、コスト意識を常に持ち試薬の検討を行う	引き続き検査データの精確性・安定性を重視した上で、使用方法・管理等を見直し、コスト削減に臨む。パンデミック時の検査試薬の確保に努める
チーム医療	感染制御・医療安全等チーム医療への参加など臨床支援に関わる	検査科として関われるチーム医療で、積極的な支援を継続する(感染制御チーム、医療安全推進チーム、栄養管理チーム、小児科検査機器管理等)
非常事態時の危機・安全管理	非常事態時の人的確保、検査データの提供、機器・試薬の管理・確保等の検討を行う	大震災の教訓を生かし、非常事態時における種々の危機を想定した上で、検査科業務の対応を検討する
患者サービス	検査科として出来る患者サービスを勘案し、積極的に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ・患者満足度が上がるような接遇に取り組む ・検体採取から結果報告までの時間(TAT)を短縮する

令和8年度 課長方針

部課	市立病院 医務局 栄養科	科長	高田 隆
----	--------------	----	------

課の運営方針

- ・自己研さんに務め、チーム医療の一員として栄養面から患者をサポートする。
- ・安全でおいしく、満足度の高い食事を提供する。
- ・早期退院を目指し、患者個々の身体状況に応じた栄養管理を行う。
- ・実践しやすく、継続可能な栄養食事指導を実施する。
- ・互いに認め合い、協力しながら、高め合える職場環境づくりに取り組む。

主要事業

事業名	事業内容	目標
病院給食	<ul style="list-style-type: none"> ・大量調理施設衛生管理マニュアルに基づき、安全で衛生的な食事を提供する。 ・食事アンケートを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理を徹底し、異物混入や誤配膳等のインシデント防止に努める。 ・患者の意見を献立に反映し、満足度の高い食事提供を目指す。 ・食品ロスの削減に努める。
栄養食事指導 (個人指導)	主治医および他院からの依頼に基づき、入院・外来栄養食事指導を行う。	患者の社会背景を考慮し、実践しやすく継続可能な食事計画の提案に努める。
栄養食事指導 (糖尿病教室)	糖尿病患者を対象とした集団栄養食事指導を行う。	患者同士の交流を大切にし、実践型の指導を行う。
入院患者の 栄養管理	<ul style="list-style-type: none"> ・他職種と連携し、入院患者の低栄養スクリーニング、栄養管理計画書の作成および定期的な評価を行う。 ・栄養管理チーム会議を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・患者個々の栄養状態を把握し、問題がある場合は最適な栄養療法を提案できるように努める。 ・月1回、他職種と栄養管理チーム会議を開催し、低栄養患者の症例検討を行う。